研修医評価票 Ⅱ

「B. 資質・能力」に関する評価

研修医名:								
研修分野・診療	§科:							
観察者 氏名				区分	□医師	口医師以外	(職種名)
観察期間	年	月	日 ~	<i>,</i>	年_	月	日	
記載日	年	月	日					

レベルの説明

レベル 1	レベル 2	レベル3	レベル4
臨床研修の開始時点で 期待されるレベル (モデル・コア・カリキュラム相当)	臨床研修の中間時点で 期待されるレベル	臨床研修の終了時点で 期待されるレベル (到達目標相当)	上級医として 期待されるレベル

1. 医学・医療における倫理性:

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル 1		レベル2			レベル3			レベル4
レベル I モデル・コア・カリキュラ.	,	V 1/V Z		Ţ.I	レベル 3 「修終了時で期待されるレベ	بال		D: 1/04
■医学・医療の歴史的な流れ		 間の尊厳と生命の不可	1/3		間の尊厳を守り、生命(エニ	デルとなる行動を他者に
■医子・医療の歴史的な流れ 臨床倫理や生と死に係る倫理		町の导廠と生命の不可 こ関して尊重の念を示			リの専政を守り、土印で 是性を尊重する。	ハヤ	示す	
問題、各種倫理に関する規範			`	HJ E	てはて守里りる。		71. 9	0
			LIIL		*のプニノバシ!===	+	T:	ゴルトカス行動な州老に
概説できる。		者のプライバシーに最			ずのプライバシーに配! ロジ芝変を思えた	息		デルとなる行動を他者に
■患者の基本的権利、自己決	1,500	配慮し、守秘義務を果	÷/C	U,	守秘義務を果たす。		示す	0
権の意義、患者の価値観、イ				/^ =	n//		بد ۱۸	711.22. 2.77.46.2
フォームドコンセントとイン	11113	理的ジレンマの存在を 、	認		型的ジレンマを認識し、 			里的ジレンマを認識し、
ォームドアセントなどの意義	と 識っ	する。		互專	車に基づき対応する。	•		五尊重に基づいて多面的
必要性を説明できる。							に半	判断し、対応する。
■患者のプライバシーに配慮	利	益相反の存在を認識す	-	利益	は相反を認識し、管理に	方針	モラ	デルとなる行動を他者に
し、守秘義務の重要性を理解	しる。			に対	単拠して対応する。		示す	r.
た上で適切な取り扱いができ	診	療、研究、教育に必要	な	診療	と、研究、教育の透明 に	生を	モラ	デルとなる行動を他者に
る。	透	明性確保と不正行為の	防	確仍	戻し、不正行為の防止 (に努	示す	, ·
	正:	を認識する。		める	5 .			
		□ 観察	する	機会	が無かった			
コメント:								

2. 医学知識と問題対応能力:

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

子的依拠に從	映を加盟	未して解決を凶 	る。 ———			
レベル 1		レベル2		レベル3		レベル 4
モデル・コア・カリキュラ.	4		研修	終了時に期待されるレベル	,	
■必要な課題を発見し、重要	頻度	の高い症候について	頻度	の高い症候について、	主な	症候について、十分な鑑
性・必要性に照らし、順位化	基本的	的な鑑別診断を挙げ	適切	な臨床推論のプロセス	別診	断と初期対応をする。
けをし、解決にあたり、他の	初期	対応を計画する。	を経	て、鑑別診断と初期対	t	
学習者や教員と協力してより)		応を	行う。		
良い具体的な方法を見出する	基本的	的な情報を収集し、	医 患者	情報を収集し、最新 <i>の</i>	患者	に関する詳細な情報を収
とができる。適切な自己評価	学的结	印見に基づいて臨床	決 医学	的知見に基づいて、患	集し	、最新の医学的知見と患
と改善のための方策を立てる	断を	倹討する。	者の	意向や生活の質に配慮	者の	意向や生活の質への配慮
ことができる。			した	臨床決断を行う。	を統一	合した臨床決断をする。
■講義、教科書、検索情報が	保健	医療・福祉の各側	面 保健	・医療・福祉の各側面	i 保健	・医療・福祉の各側面に
どを統合し、自らの考えを表	た配が	載した診療計画を立	案に配	慮した診療計画を立案	配慮	した診療計画を立案し、
すことができる。	する。		し、	実行する。	患者:	背景、多職種連携も勘案
					して	実行する。
			オスペ	会が無かった		L

3. 診療技能と患者ケア:

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

臨床技能を磨る	き、患者	ちの苦痛や不安、	考え・	意向に配慮した記	診療を1	万づ。
レベル 1		レベル2		レベル3		レベル4
モデル・コア・カリキュラム	4		研修約	冬了時に期待されるレベル		
■必要最低限の病歴を聴取	必要是	最低限の患者の健康	患者の	健康状態に関する情	複雑な	症例において、患者の
、網羅的に系統立てて、身	r 状態!	こ関する情報を心	報を、	心理・社会的側面を	健康に	関する情報を心理・社
本診察を行うことができる。	理・神	社会的側面を含め	含めて	、効果的かつ安全に	会的側	面を含めて、効果的か
■基本的な臨床技能を理解	て、気	安全に収集する。	収集す	る。	つ安全	に収集する。
し、適切な態度で診断治療を	基本的	的な疾患の最適な治	患者の	状態に合わせた、最	複雑な	疾患の最適な治療を患
テうことができる。	療を多	安全に実施する。	適な治	療を安全に実施す	者の状	態に合わせて安全に実
■問題志向型医療記録形式で			る。		施する	0
参療録を作成し、必要に応じ	最低	限必要な情報を含ん	診療内	容とその根拠に関す	必要か	つ十分な診療内容とそ
て医療文書を作成できる。	だ診り	療内容とその根拠に	る医療	記録や文書を、適切	の根拠	に関する医療記録や文
■緊急を要する病態、慢性療	関する	る医療記録や文書	かつ遅	滞なく作成する。	書を、	適切かつ遅滞なく作成
患、に関して説明ができる。	を、i	適切に作成する。			でき、	記載の模範を示せる。
		□ 観察で	よる機会	会が無かった		

4. コミュニケーション能力:

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

		レベル2		レベル3		レベル4
モデル・コア・カリキュラ.	4		研修	終了時に期待されるレベル		
■コミュニケーションの方法	最低	限の言葉遣い、態度、	適切	な言葉遣い、礼儀正し	適切な	言葉遣い、礼儀正しい
と技能、及ぼす影響を概説で	: 身だ	しなみで患者や家族に	こ い態	度、身だしなみで患者	態度、	身だしなみで、状況や
きる。	接す	る。	や家	族に接する。	患者家	族の思いに合わせた態
■良好な人間関係を築くこと	-				度で患	者や家族に接する。
ができ、患者・家族に共感で	~					
きる。	患者	や家族にとって必要員	患者	ー や家族にとって必要な	患者や	家族にとって必要かつ
■患者・家族の苦痛に配慮	低限(の情報を整理し、説明	月 情報	を整理し、分かりやす	十分な	情報を適切に整理し、
し、分かりやすい言葉で心理	且 でき	る。指導医とともに原		ェー 葉で説明して、患者の		やすい言葉で説明し、
的社会的課題を把握し、整理		主体的な意思決定を		的な意思決定を支援す		判断を加味した上で患
できる。	援す		る。			体的な意思決定を支援
■患者の要望への対処の仕力					する。	
を説明できる。	患者·	 や家族の主要なニー <i>></i>	ズ 患者 ・	 や家族のニーズを身		
		屋する。		心理・社会的側面から	_ ,, ,	社会的側面から把握
	2,2,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		する。		合する。
				Γ		

5. チーム医療の実践:

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

	じめ、患者や家族に関 			
レベル 1	レベル2	レベル3		レベル4
モデル・コア・カリキュラム		研修終了時に期待されるレベル		
■チーム医療の意義を説明で	単純な事例において、医療	医療を提供する組織やチ	複雑な	事例において、医療を
き、(学生として) チームの	き、(学生として) チームの を提供する組織やチームの		提供す	る組織やチームの目的
一員として診療に参加でき	目的等を理解する。	構成員の役割を理解す	とチー	ムの目的等を理解した
る。		る 。	うえで	実践する。
■自分の限界を認識し、他の	単純な事例において、チー	チームの各構成員と情報	チーム	の各構成員と情報を積
医療従事者の援助を求めるこ	ムの各構成員と情報を共有	を共有し、連携を図る。	極的に	共有し、連携して最善
とができる。	し、連携を図る。		のチー	ム医療を実践する。
■チーム医療における医師の				
役割を説明できる。				
	□ 観察す	る機会が無かった		

6. 医療の質と安全の管理:

		レベル 2			レベル3		レベル 4
Eデル・コア・カリキュラム				研	修終了時に期待されるレベ	ル	
医療事故の防止において個	医療	の質と患者安全の重	要	医療	いて と 患者安全の重	要 医療	の質と患者安全につい
の注意、組織的なリスク管	性を	理解する。		性を	を理解し、それらの評	て、	日常的に認識・評価
2の重要性を説明できる				価·	改善に努める。	し、	改善を提言する。
医療現場における報告・連	日常	業務において、適切	な	日常	常業務の一環として、	報 報告	・連絡・相談を実践す
・相談の重要性、医療文書	頻度	で報告、連絡、相談	が	告・	連絡・相談を実践す	ると	ともに、報告・連絡・
改ざんの違法性を説明でき	でき	る。		る。		相談	に対応する。
1	一般	的な医療事故等の予	防	医療	寮事故等の予防と事後	の非典	型的な医療事故等を個
医療安全管理体制の在り	と事	後対応の必要性を理	解	対応	なを行う。	別に	分析し、予防と事後対
、医療関連感染症の原因と	する	0				応を	·行う。
近上に関して概説できる	医療	従事者の健康管理と	自	医療	寮従事者の健康管理(予自ら	の健康管理、他の医療
	らの	健康管理の必要性を	理	防报	接種や針刺し事故への	対 従事	者の健康管理に努め
	解す	る。		応を	を含む。)を理解し、	自 る。	
				50	D健康管理に努める。		T
		□ 観察	する	機会	が無かった		
コメント:							

7. 社会における医療の実践:

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

レベル 1		レベル2			レベル3			レベル4
モデル・コア・カリキュラム				研修	多終了時に期待されるレベル	レ		
■離島・へき地を含む地域社	保健	医療に関する法規・制	佰	录 傾	医療に関する法規・	制	保健	医療に関する法規・制
会における医療の状況、医師	度を	理解する。	度	と の で の で の で の で の で の で の で の で の で の)目的と仕組みを理解	す	度の	目的と仕組みを理解
偏在の現状を概説できる。			Z	5.			l,	実臨床に適用する。
■医療計画及び地域医療構	健康	保険、公費負担医療の) [2	医療	費の患者負担に配慮	l	健康	保険、公費負担医療の
想、地域包括ケア、地域保健	制度	を理解する。	-	2	、健康保険、公費負	担	適用	の可否を判断し、適切
などを説明できる。			3	医療	を適切に活用する。		に活	用する。
■災害医療を説明できる	地域	の健康問題やニーズを	地	也域	の健康問題やニーズ	を	地域	の健康問題やニーズを
■(学生として)地域医療に	把握	する重要性を理解す	Ħ	巴握	し、必要な対策を提	案	把握	し、必要な対策を提案・
積極的に参加・貢献する	る。		귤	トる	Do		実行	する。
	予防	医療・保健・健康増進	7	F 17	i医療・保健・健康増	進	予防	医療・保健・健康増進に
	の必	要性を理解する。	1:	三癸.	み ある。		つい	て具体的な改善案など
							を提	示する。
	地域	包括ケアシステムを理	里地	也均	む話ケアシステムを	理	地域	包括ケアシステムを理
	解す	る。	角	昇し	、その推進に貢献する	5.	解し	、その推進に積極的に
							参画	iする。
	災害	や感染症パンデミック	IJ	售	や感染症パンデミッ	ク	災害	や感染症パンデミック
	など	の非日常的な医療需要	. t	٤٤	の非日常的な医療需	要	など	の非日常的な医療需要
	が起	こりうることを理解す	٠ (:	こ備	える。		を想	定し、組織的な対応を
	る。						主導	する実際に対応する。
,		□ 観察す	る機	会	が無かった	ı		
コメント:								

8.	私点	学点	ケセ	究	
ο.	<i>1</i> 4-		אוני	571.	

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療 の発展に寄与する。

; /s	レベル2		レベル3 研修終了時に期待されるしべ	JI.	レベル4	
		. 6				
	CL 12 MCIRITING PRIMARY	-			と変換し、研究計画を立案	
 患 科学	 ど的研究方法を理解す	· 1	 科学的研究方法を理解し		 学的研究方法を目的に合	
					せて活用実践する。	
臨床	 ボ研究や治験の意義を				 末研究や治験の意義を理	
な 解す	- -る。	f.	解し、協力する。	解	し、実臨床で協力・実施	
				す	る。	
<u>I</u>		する模	 &会が無かった	ı	1	
	行 る。 科学 る。 臨床 な 解す	た 医療上の疑問点を認識する。患 科学的研究方法を理解する。臨床研究や治験の意義をな解する。	 た 医療上の疑問点を認識する。 は 科学的研究方法を理解する。 は 協床研究や治験の意義を理なな解する。 	 研修終了時に期待されるレベルや 医療上の疑問点を認識す 医療上の疑問点を研究課 に変換する。 科学的研究方法を理解す		

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢:

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑚しながら、後進の育成 にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

■生涯学習の重要性を説明できる。 □生涯学習の重要性を説明できる。 □僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。 □内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。) □を変化・発展する医学の意味に変化・発展する医学の表現した。 □のために変化・発展する医学の表現である。 □のために努力する。 □を育成する。 □のよりに教え、学びある。 □を育成する。 □のよりに教え、学びある。 □を育成する。 □のよりに教え、学びある。 □を育成する。 □のよりに教え、学びある。 □を育成する。 □を育成する。 □のよりに教え、学びある。 □を育成する。	レベル1	レベル2			レベル3		レベル4
き、継続的学習に必要な情報 を収集できる。 知識・技術の吸収の必要性 を認識する。 同僚、後輩、医師以外の医 療職から学ぶ姿勢を維持す る。 国内外の政策や医学及び医 療の最新動向(薬剤耐性菌 やゲノム医療等を含む。) の重要性を認識する。 回		J		研修		L	
を収集できる。	■生涯学習の重要性を説明で	急速に変化・発展する医	学	急速	 こ変化・発展する医:	学 急	 速に変化・発展する医学
回僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。	き、継続的学習に必要な情報	知識・技術の吸収の必要	性	知識	・技術の吸収に努め	知	識・技術の吸収のために、
同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。	を収集できる。	を認識する。		る。		常	こ自己省察し、自己研鑽
療職から学ぶ姿勢を維持する。						07	こめに努力する。
あ。 進を育成する。 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)の重要性を認識する。 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤・水ゲノム医療等を含む。)をデノム医療等を含む。とやゲノム医療等を含む。とれ握する。 ロ		同僚、後輩、医師以外の)医	同僚、	 後輩、医師以外の	医 同作	
国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)の重要性を認識する。 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌療の最新動向(薬剤・サゲノム医療等を含む。)を把握する。 をがノム医療等を含む。)を把握する。 を把握し、実臨床にある。 ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー		療職から学ぶ姿勢を維持	す	療職。	と互いに教え、学び	あ 職	と共に研鑽しながら、後
国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)の重要性を認識する。 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。 本ゲノム医療等を含む。)を把握する。 やゲノム医療等を含む。)を把握する。 ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー		る。		う。		進	を育成する。
やゲノム医療等を含む。) やゲノム医療等を含む。) やゲノム医療等を含む。) やゲノム医療等を含む。) を把握する。 を把握し、実臨床にる。 ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ は察する機会が無かった は<		国内外の政策や医学及び	医		 外の政策や医学及び	医 国	 内外の政策や医学及び医
の重要性を認識する。 を把握する。 を把握する。 を把握し、実臨床にる。 る。 □ □ □ □ 世報察する機会が無かった □ □ □		 療の最新動向(薬剤耐性	:菌	療の	最新動向(薬剤耐性)	第 療(の最新動向(薬剤耐性菌
a。		やゲノム医療等を含む。)		やゲ	ノム医療等を含む。)	\$	ゲノム医療等を含む。)
□ □ □ □ □ □ 観察する機会が無かった		の重要性を認識する。		を把持	屋する。	を持	巴握し、実臨床に活用す
□ 観察する機会が無かった						る。	
コメント:		□ 観察	する	機会	が無かった		
	コメント:						